

4月21日(日) 3日目 高知周辺観光後、高知空港から羽田空港へ

日曜市を散策後、高知城→佐川→桂浜など、時間の許す限り観光を楽しみたいと思います。

根岸さんは飛行機予約の都合で今日も高知に1泊して、明日羽田に帰る予定です。



ウエルカムホテルには朝食が付いていました。

吉松さんは6:30から食べ始め、中島は6:40ごろに朝食処に着きます。

ここで、吉松さんが服部さんは？と、あ、別々かもと中島。あれ、昨日一緒に行こうって言ってたよね？と吉松さん。え、そうだったけ？ 7:00に服部さんの姿が。も一、部屋の扉叩いてもでてこないから来たんだよーっと服部さん。すみません、全然記憶にありませんでした。



8:00 根岸さんも合流して、日曜市に行きます。

服部さんは買う気満々！目星を付けながら、、、まずは高知城を散策することになりました。

★日曜市★

300年以上の歴史を誇る日曜市は、農産物、骨董品、金物、菓子、植木・・・と豊富にそろそろショッピングパラダイス。高知城の追手門から東に延びる追手筋沿い、総延長1kmにわたってテントが立ち並び、早朝から活気に満ちている。(ガイドブックより)



8:25 高知城

吉松さんより、、

松山城と違うところがあるね。広告のぼんぼりがあるよ。

ネットで調べたところ、

春の観光シーズンに合わせて例年実施しているそうです。今年で68回目。大小合わせて273個のぼんぼりが設置されています。夜はライトアップもされるそうです。

★高知城★

1601(慶長6)年に山内一豊が築城開始。日本で唯一、本丸の建築群がすべて現在する城郭で、江戸時代の姿を今に伝える。現存12天守のひとつとして知られる。(HPより)



石樋 (いしどい)

雨の多い土佐ならではの独特な設備だそうです。

今日も小雨です。



山内一豊の妻の銅像

一豊を支えた妻・千代の存在は大きく、一豊を国主にまで成り上がらせたと言われているそうです。



板垣退助(1837~1919)
高知城下中島町の上士の家に
生まれたそうです。



8:47 ひろめ市場は 9:00 にオープン。
オープンまで少し時間があるので、
日曜日でお買い物。

★ひろめ市場★

約 40 もの飲食店と約 20 ものお土産店が並
んでいる商店街で、お酒を呑みながら高知
のうまいもんをちょっとずつ堪能できる場
所です。(HP より)



8:50 根岸さんは車を取りに行ってくれま
した。

服部さん、中島はさらにお買い物♪
中島は薫焼きのカツオを購入！小夏も。
服部さんは小夏・トマト・大蒜など色々購入
して、ホテルから宅急便を送っていました。

地元の方も沢山利用されている日曜日。
楽しいところでした。

この後は、佐川・牧野富太郎のふるさとへ向かいます。

ここから佐川（さかわ）編、レポートは根岸です。

★牧野富太郎の故郷 佐川（さかわ）町ってどこ？★

佐川町は、松山から高知を車で約3時間で結ぶ国道33号線で、高知から約50分の距離にある。
JR土讃線高知駅から特急で30分（普通で55分）である。

我々は、高知城近くの日曜市から吉松さん運転の車で訪れた。

佐川では観光駐車場への案内があり、四国銀行奥の観光駐車場に入った。

上町（うえまち）まち歩きマップでコース紹介します。

★ まち歩きコース紹介★



- ① 観光駐車場の前には、「司牡丹酒造一号蔵」があったが休日は見学不可。
右手の高知銀行を左折して酒蔵の道へはいる。
- ② 右手に牧野富太郎が勉強した藩校「名教（めいこう）館」、左手に「佐川文庫庫舎」がある。
ここで「よさこい踊り」を見た。
- ③ 目指す**牧野富太郎ふるさと館（岸屋）**を見学した。全員で記念撮影。
- ④ 裏手に回って、急な階段を上り降りして「金峰（きんぷ）神社」へ。
時間の都合で青山文庫や牧野公園は行けなかった。
- ⑤ 「酒ギャラリーほてい」（休日で試飲なし）に寄って、駐車場に戻った。

★ ①司牡丹酒造第1号蔵：酒蔵の道 ★



佐川町の中心部にある、上町（うえまち）地区は、藩政時代に山内家の筆頭家老深尾氏が城下町として築き上げて栄え、主に商人が居を構えたまちである。

山内一豊は、豊臣秀吉と徳川家康に仕えて土佐城主になったが、お国入りの時にお抱えの酒づくり職人を伴ってきたといわれている。そんなことで、司牡丹酒造の創業は、1603年と書いてあった。

牧野富太郎の実家も酒造りの家（岸屋）で、ドラマ（らんまん）で描かれた通り、時代の波にさらされ数軒の酒造とともに、「司牡丹酒造」に吸収されて現在に至っている。

★ ②「名教館」と「よさこい踊り」★



上町は「牧野富太郎博士生誕（4月24日（水曜日）が誕生日）」で、生誕162年。21日は11時からよさこい踊りがあるということで、佐川文庫庫舎（旧青山文庫）前で待ち構えたが、現代風にアレンジされた踊りだった。名教館（めいこうかん）は、藩校で武士の子弟が中心だった。生誕祭の本部が設置されていた。富太郎の祖母（ドラマでは松坂慶子が演じた）が強引に富太郎を名教館に入れた。いじめにあったが、当時としては高度の教育を受けた。成績は優秀だったらしい。制度がかわり、小学校に入れられたが、小学校のレベルが低く2年で自主退学（12才）した。おかげで、最終学歴は小学校2年となった。

★ ③牧野富太郎ふるさと館（生家）★



生家のあった場所に建てられた「岸屋」の館である。中に以前の館の写真が飾ってあった。少年期の部屋をイメージして再現した展示施設で、ボランティアの方が、熱心に解説してくれた。両親が若くして亡くなり、祖母に厳しく育てられたが、植物採集に夢中になって家業を継ぐのは、妹（ドラマでは姉）と番頭に任せた。金を相当使ったらしい。



ドラマ「らんまん」を見ていた服部さんから鋭い質問が飛んでいた。例えば、「岸屋」がつぶれたのは、腐造が出たことで納税のめどが立たなくなったのかと尋ねたところ、解説者も判らなかった。植物採集の胴乱や、図鑑作成に使った印刷石板（イタリア製）の展示があった。

★ ④「金峰（きんぶ）神社」★

牧野富太郎が幼少の頃、この神社の境内でバイカオウレンなどの植物を採取し、植物への興味を広げていった。その後の一生を決定づけた重要な場所ともいえる。

裏道側から登ったが、段差が高く、かなり厳しかった。写真は表道側である。



<バイカオウレンについて>

梅花黄連は、1月から2月が花の時期と解説していた。佐川ではマンホールのかたに、花と特徴的な葉を記していた。(何種類か別の花が採用されているようだ)



左写真は「金峰神社」。
赤丸のところに、
バイカオウレンの葉っぱが
ありました。

実物はこちらで→ [バイカオウレン \(trippers.info\)](http://trippers.info) ;

★ ⑤「酒ギャラリーほてい」★ : 試飲サービスはやっていなかった。



土産の酒 (スエコザサをキーボタニカルに、文旦をブレンドした) ジンと、日本酒大吟醸を購入した。

「草をしとねに 木の根を枕 花と恋して九十年」と自ら詠んだ通りの生涯、
牧野富太郎は昭和 32 年 (1957 年) 94 歳にて終えた。

ここからは中島がレポートします。



佐川を 12 時ごろに出発して、
12:40 ひろめ市場に到着。駐車して、市場内で昼食をとることにしました。

お昼どきとあって座るところがない。。
少しウロチョロすると、運よく席が確保できました！！よかった。

カツオで人気店の「明神丸」で今日もカツオを頂きます。
服部さんは、色々物色して、美味しそうなものを購入してきました。



ファイヤー！ カツオちゃんが藁の炎であぶられていきます。



塩 5 切・タレ 5 切 定食 1,700 円



鯛めし・ウツボ唐揚げ・イカフリッター



カツオをたっぷり堪能した3人は、ニンニク臭が・・・車内に充満していました。
そっと車の窓を開ける服部さん。ごめんなさいね (^-^);



13:40 はりまや橋
車内からちらっと見学しました。

★はりまや橋★

江戸時代に、堀川を挟んで商売を行っていた「播磨屋」と「櫃屋」が、両者の往来のため私設の橋を架けたことが「はりまや橋」の由来といわれています。「♪土佐の高知のはりまや橋で、坊さんかんどし買うを見た」とよさこい節のフレーズにもなり、純信とお馬の恋物語でも知られています。(HP より)



14:15 桂浜 坂本龍馬像
台座を合わせると高さ 13.5m。

その横に・・・何やら建物が・・・
「龍馬に大接近」というイベントで。
入場料 200 円で龍馬の顔を間近で見れます(^-^);



浜辺に降りてきました。
ここで、
以前にここに来たことがある吉松さんと服部さんは、龍馬像は昔浜辺にあったのではないかなあ〜と。でもそれは間違いで、昔から高台にあったそうです。松の木が伸びて見えにくくなったせいかな？とのことでした。



14:25 桂浜



海津見神社（わたつみじんじや） 龍王宮

海上安全・海中安全・恋愛成就の神様として
信仰されています。

桂浜の西浜が一望できます。





15:26 日産レンタカー
レンタカーを返却して、
高知空港まで送ってもらいます。

<高知龍馬空港>

根岸さんとはここでお別れ。ちょうど出発しようとしていた高知駅行きのバスがいて乗っていきました。

私達は JAL496 16:15 発で羽田帰ります。

ところが、、保安検査場がなんやら動きが止まっている。。。。

長細いものを持っている人が念入りに調べられています。真剣？

後で調べたら、「全国居合道高知大会」が開催されていました。

★居合の試合とは★ 2名の出場者が真剣または模擬刀を用いて予め定められた形を、合わせて5本を演武し、「修業の深さ」、「礼儀」、「技の正確さ」、「心構え」などを審判員が判定して勝敗を決します。(HP より)



そんな方達の後に並んでいた私達は時間がギリギリになってしまいました。どうにかクリアしてセキュリティーゲートに行ったら、なんとまたストップ。出発 20 分前を過ぎてしまったせいでした。係りの方が確認してくれて、なんとかクリア。よかった。

出発は 5 分ほど遅れましたが無事にテイクオフ。

羽田空港にも無事到着しました。

羽田空港で解散して、帰路につきました。

念願の石鎚山（鎖場・ナイフリッジ）をチャレンジし、
松山・高知も沢山観光できて満喫した旅になりました。



☆ここで中島話☆

以前から気になっていた、

羽田空港出国ロビーにあるカレーうどんのお店。

18:40 ともあって、1人打ち上げて帰りました。

2種類のカレーで美味しかったです。満腹♪